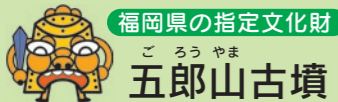


九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	常設展示：「歴史(とき)の宝箱」(～11月3日(木)、1月5日(木)～) ※11月4日(金)～11月13日(日)、12月20日(火)～12月27日(火)、2月28日(火)～3月2日(金)は展示入替に伴い第1・3展示室閉室 特別展示：「発掘された日本列島2011展」11月15日(火)～12月18日(日) (第1展示室) 企画展示：9月13日(火)～10月28日(金) 謎の福原長者原遺跡と古代の豊前(第2展示室) 11月1日(火)～1月15日(日) 筑後国府展(第2・4展示室) 11月12日(土)～12月18日(日) 蔵司発掘調査速報展(大宰府展示館(太宰府市)) 1月5日(木)～2月26日(日) 北部九州の霊山と経塚(第1展示室) 1月17日(火)～4月22日(日) 筑豊工業高校資料展(第1・2・4展示室) パネル展示：9月13日(火)～10月30日(日) 朝鮮半島の文化遺産-高句麗の古代山城編-(第4展示室) 12月13日(火)～3月4日(日) とっとり倭人伝-青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡-(文化情報広場) 古代体験：毎週、土・日・祝日に第4展示室で九歴ボランティアによる古代体験実施中(有料、無料体験あり。予約不要。)
講 演	発掘された日本列島2011展記念講演会：11月19日(土)「北部九州の青銅器と弥生社会-福岡の新発見資料から-」 九州歴史資料館開館1周年記念シンポジウム：1月29日(日)「祈りの世界-北部九州の霊山と経塚-」(於：九州国立博物館) 鳥取発! 弥生シンポジウム：2月18日(土)「とっとり倭人伝 弥生の国邑、市羅の実像」(於：小郡市文化会館) 館長講座：全12回の連続講座「古代の朝鮮半島」(第4土曜日)(受付は終了しました) 九歴講座：全12回 第2土曜日(11月のみ第1土曜日) 九歴ゼミ：史料講読講座 10月～12月(受付は終了しました)、専門講座 1月～3月(11月より受付開始予定)
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区) 県内遺跡発掘調査 10月～3月
求菩提資料館	常設展示：「求菩提修験道の世界」 企画展示：2011 秋の特別展「豊の国 修験道の世界-類蔵とその周辺」10月18日(火)～12月4日(日) ミニ企画展：おひなまつり 2月4日(土)～4月1日(日) 市民歴史講座：第4回…10月1日(土) 第5回…11月12日(土)
甘木歴史資料館	常設展示：「朝倉の歴史と民俗資料」 特別企画展：9月17日(土)～10月10日(月)「坂本真鈴氏関係考古資料特別展示」 企画展示：10月18日(火)～11月27日(日) 第50回秋季企画展「戦後の昭和-団塊世代の衣・食・住-」 企画展講演会：11月12日(土)13:30～15:00「戦後の昭和-団塊世代の衣・食・住-」(講師：甘木歴史資料館 馬田弘稔副館長) 新春企画：1月7日(土)～1月22日(日)「今年の干支展-辰-」 春季季節展：3月20日(火)～4月8日(日)「あ!さくら展」 公開学習講座「ひみこ」：10/1・10/15・11/5・11/19開催。 齊明天皇と朝倉橘広庭宮をテーマとした連続講座。(要電話申込)
柳川古文書館	常設展示：10月4日(火)～11月27日(日)「保存のかたち-史料を守り、伝える-」 企画展示：11月30日(水)～2月5日(日)「子爵 曾我祐準」展 *展示替えに伴い11月29日(火)を臨時休館します。 常設展示：2月7日(火)～4月8日(日)「保存のかたち-史料を守り、伝える-」併設展示：ひな人形・さげもんを展示します。 歴史文化講演会「曾我祐準とその時代」：1月7日(土)13:30～ 於柳川市立図書館(あめんぼセンター)2階AVホール 講師：保谷 徹氏(東京大学史料編纂所教授)「戊辰戦争と柳河藩」 小林和幸氏(青山学院大学教授)「貴族院議員としての曾我祐準」

※九州歴史資料館の行事については、ホームページにて随時最新情報を提供しています。また、各館の行事の詳細については、直接お問い合わせください。



福岡県の指定文化財

ごろうやま

五郎山古墳 [国指定史跡]：筑紫野市原田

五郎山古墳は、古墳が最も多くつくられた6世紀に築造された円墳です。石室の中には、古代人が描いた色鮮やかな壁画が、いまなお残されています。古墳の近くには「五郎山古墳館」があり、実物大の石室模型で臨場感ある壁画観察を楽しめます。また、5日前までに五郎山古墳館へ事前予約をすると、本物の石室も見学できます。JR原田駅から徒歩10分の場所にあり、当館とあわせてご観覧ください。(入館無料)。

五郎山古墳館：(住所)筑紫野市原田三丁目9番地5 (電話)092-927-3655



〒838-0106
福岡県小郡市三沢5208-3

☎ 0942-75-9575

FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

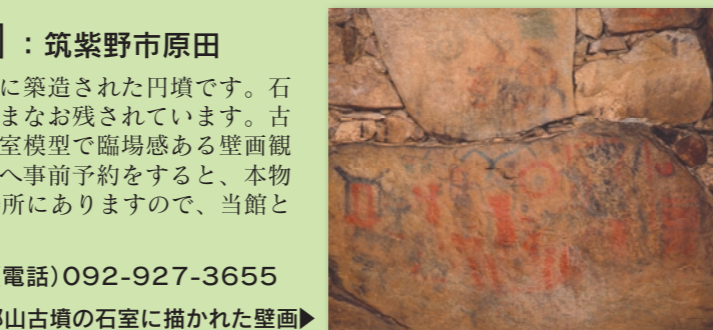
開館時間 午前9時30分～午後4時30分
(入館は午後4時まで)
観覧料 一般200(150)円 高大生150(100)円
満65歳以上・中学生以下
障がい者(同伴介護者1名)無料
※土曜日は高校生も無料
※()内は団体料金(20名以上)
休館日 月曜日
(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)

●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩10分
《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約5分

●自動車

《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分



五郎山古墳の石室に描かれた壁画▶



編集・発行 九州歴史資料館 印刷 信光社印刷(有)

九歴たより

No.34
2011.10

九歴たより 平成二十三年十月(第三十四号)

シカの絵画土器(愛知県一色青海町跡)
石の櫛(鹿島川西遺跡)
土偶(滋賀県相模原遺跡)
カヌシ形埴輪(奈良県四条古墳群)
石器接合資料(鹿児島県宮ノ上遺跡)

重要な遺跡・遺物の最新発掘速報展

11月15日(火)～12月18日(日) 九州歴史資料館第1展示室(要観覧料)

特別展

「発掘された日本列島2011」開催!!

日本国内では、年間約8,000件の発掘調査が行われています。その中から、重要かつ代表的な調査成果を速報的に全国各地で公開する巡回展が「発掘された日本列島」です。

今年2011年は、特に注目される21遺跡、約500点の出土資料を公開します。紹介する遺跡も旧石器時代から近代まで、北は青森県から南は鹿児島県まで、幅広く網羅しています。九州からは、福岡県宗像市の弥生時代の田熊石畑遺跡がパネル紹介される他、鹿児島県の旧石器時代と縄文時代の2つの遺跡が紹介されます。また、昨年秋に、国の特別名勝に指定された「平城宮東院庭園」の発掘調査や保存整備事業についても紹介します。秋の行楽の季節、列島各地で新たに発見された歴史を、九歴へ見に来ませんか?

会期 平成23年11月15日(火)～12月18日(日) 場所 九州歴史資料館第1展示室(要観覧料)

お知らせ 特別展「発掘された日本列島2011」は、通常観覧料金で観覧いただけます。
11月19日(土)には記念講演会「北部九州の青銅器と弥生社会」も開催します(要参加申込み)。
11月20日(日)は「家族の日」のため、観覧料は無料です。

「九州最古の狩人とその時代」

九州地方における人類の登場は、遅くとも約3万5千年前に始まる後期旧石器時代にまで遡ります。当時の九州地方は、氷河時代最終氷期の寒冷化によって海水面が低下し、朝鮮半島や中国大陸と陸続きに近い状態でした。そのため、動物やそれを獲物とする人類もいく度か渡来したと考えられています。この私達の遠い祖先である最古の人類の足跡は、残された石器やわずかな遺構などによって、うかがい知ることができます。

本展では、九州地方で確認されている旧石器資料をはじめ、当時の環境や絶滅動物の研究成果を取り入れながら、この九州最古の人類文化の軌跡をたどります。

この展示を通して、九州最古の狩人の時代を、来館者の方々に実感していただきたいと思えます。

会 期：平成23年10月29日(土)～12月18日(日)
※一部、10月12日(水)より展示開始

場 所：九州国立博物館 文化交流展示室
(太宰府市石坂4-7-2)

主 催：九州国立博物館・九州歴史資料館



鹿児島県指定文化財 桐木耳取遺跡出土剥片尖頭器
鹿児島県立埋蔵文化財センター蔵

九州歴史資料館開館1周年記念企画展

「北部九州の霊山と経塚」

経塚は、平安時代の人々が、末法思想を背景に仏の教えを未来へ伝えようと経典を地中に埋め、その功德により極楽往生や現世利益を願って造られたものです。北部九州は、近畿地方と並び経塚の一大文化圏をなしています。本展では、国宝・重要文化財を含む北部九州の主要な経塚資料を一堂に展示し、その造営の背景と地域的な特質に迫ります。

会 期：平成24年1月5日(木)～2月26日(日)

場 所：九州歴史資料館 第1展示室

主 催：九州歴史資料館・文化庁



国宝 銅板法華経の銅篋
求菩提山普賢窟出土 国玉神社所蔵



重要文化財 銅製経筒と金銅製如来立像
英彦山経塚群出土 英彦山神宮所蔵

第7回企画展「筑豊工業高校資料展」



山本作兵衛炭坑記録画 (3月上旬より展示)



筑豊鉱山学校・筑豊石炭鉱業組合関係史料

平成17年3月に閉校した福岡県立筑豊工業高校(直方市)には、高校の前身である筑豊鉱山学校(大正8年設立)や、筑豊炭田の炭鉱関係資料が、数多く保管されてきました。文書や写真・16mmフィルム・模型・鉱物など、その種類は多様で、いずれも貴重な資料です。本展では、九州歴史資料館に新たに収蔵された「筑豊工業高校資料」について紹介します。

会 期：平成24年1月17日(火)～4月22日(日)
場 所：九州歴史資料館 第1・2・4展示室



御徳海軍炭鉱第2坑(小竹町)と川ひらた舟

九州歴史資料館の講座を紹介します

館長講座 当館の西谷正館長を講師に1年間(全12回)連続の講座を開催しています。今年度のテーマは「古代の朝鮮半島」です。朝鮮半島の考古学にも精通する館長が、これまで実際に見てきた遺跡や資料を中心に雄大な古代のロマンを語ります。

九歴講座 当館学芸員のほか、文献史学・考古学・美術史学・保存科学・民俗学などの各分野の第一線で活躍されている方々を講師に招き、毎月第2土曜日に講座を開催しています。最新の調査成果や新たな研究の近況をいち早くご紹介するとともに、みなさまの「ここが知りたい」にお答えします!

九歴ゼミ 当館の学芸員が平日夜に開催する6回連続、少人数によるゼミ形式の講座です。「文書を読めるようになりたい」・「仏教美術に興味がある」・「考古学を学びたい」など、みなさまのより深い関心に応じた専門的な内容になっています。

※九州歴史資料館のHPにて、各講座の開催要項・募集告知を順次更新しています。特別展や企画展に伴う講座も随時開催していますので、ご注目ください。

※今年度の館長講座は参加受付を終了しています。



九歴ゼミ「史料が語る大宰府の歴史」